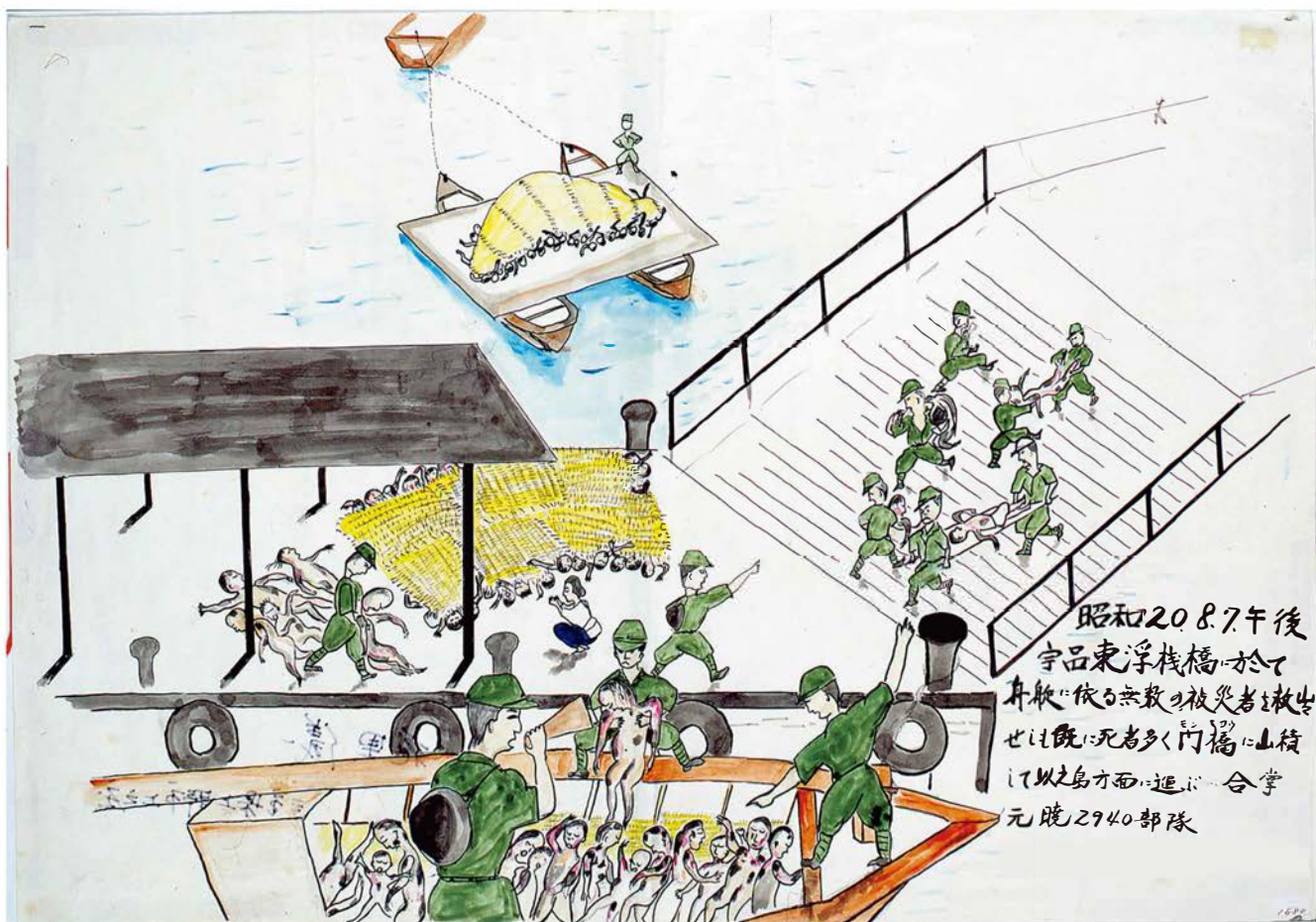


# 「広島市の救護に立て」 暁部隊最後の任務

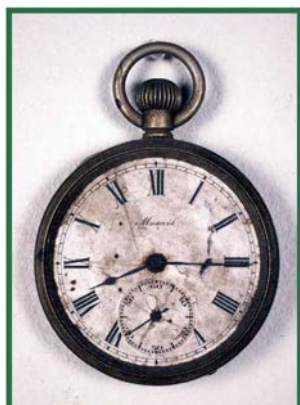
— 暁部隊が見た被爆の実相 —



昭和20.8.7午後  
宇品東浮棧橋にて  
舟艇に依り無数の被災者を救出  
せし既に死者多く門橋に山積  
して以之島方面へ運ぶ 合掌  
元暁2940部隊

無数の被災者を船で似島へ運ぶ / 作:花里儀一

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の企画展「暁部隊 劫火へ向カヘリー特攻少年兵たちのヒロシマ」にあわせて  
広島平和記念資料館が所蔵する関連資料を紹介しします。



特別展示(複製)  
8時15分で止まった懐中時計  
寄贈:二川一夫



ブラウス / 寄贈:大本徳夫



※資料館ではありません ご注意ください

会期

2024年8月1日(木)～31日(土)

8:30～19:00 (8/5,6は20:00まで)

会場

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 研修室

入場無料

# 戦闘に備え訓練に明け暮れていた暁部隊に与えられた最後の任務は 焼け野原になった広島で、苦しみ喘ぐ人々を救うことでした。

暁部隊が見た原爆被害の悲惨さを通じて、核兵器の非人道性を訴えます

## — 構成 —

### 1. 8月6日の混乱 閃光・爆風・きのこ雲／押し寄せる負傷者

「広島でいったい何が起こったのか。」



きのこ雲 撮影:木村権一



負傷者を満載した船に会う 作:後藤利文



炎に追われ避難する大群衆 作:長峰忠義

### 2. 総力を挙げて 救援救護／遺体処理／消防と復旧

「特幹の兵が夕方には力なく座ってしまった。私達衛生兵も食事がのどを通らなかった。」



兵隊さん早く、足を切ってもよいから  
作:井村留夫 寄贈:杉山大



似島で終日死者を焼く 作:後藤利文



川に浮いている遺体の収容 作:松空一雄



被災者がひしめく臨時救護所  
撮影:尾糠政美



ワセリン



滅菌ガーゼ



水筒 寄贈:新井好雄

### 3. 闘いの果て 部隊内の犠牲／遺されたもの

「何ということだろう。人間が人間に対してなしうる残虐にこれ以上のことがあるだろうか。」



火傷の手当を受ける少年  
撮影:宮武甫 提供:朝日新聞社



鞆 寄贈:砂川三郎



バックル 寄贈:山田紀子



腕時計



指輪

(似島で発掘収集された遺品)